



港南小学校 学校だより

校長 船木 亮作

日差しがまぶしい初夏を迎え、緑が深まる季節となりました。学校公開には、多数の保護者や地域の方々にお越しいただき、ありがとうございます。皆様から頂いたご意見を基にしながら授業改善をさらに進めていきたいと思いません。

さて、六月は「ふれあい月間」の第一回目です。本校では、六月のふれあい月間では、「あいさつ」「言葉遣い」を中心に指導を行っています。玄関の掲示板には、各学級で話し合った「あいさつ」のクラス目標が掲示してあります。そのどれもが本校の目指す「豊かな心」に繋がる言葉で溢れています。あいさつを始め言葉の大切さは昨年度も子供たちに話してきました。言葉というキーワードに次の詩を思い出しました。

一秒の言葉

この詩は、昭和六十年の大晦日、民放の「ゆく年くる年」でたった一回だけ放送された幻のコマーシャルです。放送後には、その短い言葉が話題となり、平成二十年六月十日の記念日にリメイク作品が放送されました。また、この年から、小学校の道徳の副読本にも使われるようになりました。

日常何気なく発する短い言葉ですが、人はその言葉に心を動かされ、気持ちを含めて相手に伝えていきます。また、ちよつとした言葉でやる気を出したり喜んだりするとともに悲しんだり落胆したりします。ですから、ほんの少しの心ある言葉で上手く人間関係も築いていけるものです。

子供たちは、この二か月間で心も体も成長しています。しかし、この二か月の間に「一

6月号

二十四節気・七十二候

< 6月の二十四節気 >

- ・ 6月6日 芒種
麦を納め稲を植う
- ・ 6月21日 夏至
夏の最中日北上の極

< 6月の七十二候 >

- ・ 蟻螂生
かまきりしょうず
→蟻螂が生まれ出る
- ・ 腐草為螢
くされたるくさほたるとなる
→腐った草が蒸れ螢になる
- ・ 梅子黄
うめのみきばむ
→梅の実が黄ばんで熟す
- ・ 乃東枯
なつかれくさかる
→夏枯草が枯れる
- ・ 菖蒲華
あやめはなさく
→あやめの花が咲く
- ・ 半夏生
はんげしょうず
→烏柄杓が生える

一秒の言葉

小泉 吉宏

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に人のやさしさを知ることがある

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で勇気がよみがえってくることもある

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉でしあわせにあふれることがある

「いじめなやい」

この一秒ほどの短い言葉に人の弱さを見ることがある

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が一生の別れになることがある

「一秒の喜び」

一秒に泣く

「一生懸命」

一秒 人は生きる

秒の言葉」をどのくらい伝え、人と繋がってきただけでしょうか。ところが、時にはその日の気分や調子で、心もとない言葉が発してしまいい、関係を壊したり、相手を怒らせてしまったりしたことはないでしょうか。そんな時もちよつと心に余裕をもつて相手のことを考えてあげられるようになってお互いが気持ちよく過ごせるのではないのでしょうか。

この詩に書かれている言葉はどれも「一秒」で伝えられる言葉です。学校では、相手を意識した言葉について指導を続けていきます。子供たち同士、子供と教員、保護者同士、保護者と教員との関係が少しでも円滑になるようみんなで心掛けていきたいものです。

「ふれあい月間」

豊かな心の育成を目指し、五月は全校挙げて清掃に力を入れました。子供たちは出張清掃のめあてを立て、清掃に取り組みました。六月はふれあい月間です。「あいさつ」と「言葉遣い」について力を入れて取り組みます。

年度初めの学校便りでもお伝えしましたが、あいさつで学校を変えたいと本気で思っています。そのため、五月下旬よりフレンドリー班であいさつ運動を推進しています。

保護者の皆様には、お子さんが担当する日程をご確認いただき、ご都合がつけば一緒にあいさつ運動に取り組んでいただければと思います。保護者も地域の方も子供たちも一緒に取り組むことで、豊かな心を育成したいと考えています。

時間は、午前八時一〇分～八時二〇分です。詳細はお子さんが持ち帰ったプリントでご確認ください。どうぞよろしくお願いたします。

(生活指導主幹

小清水 孝)



港南小学校HP

東京都港区港南4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500
<http://konan-es.minato-kyo.ed.jp/>



遠足特集♪

各学年の遠足の様子をお伝えします。



二年生【上野動物園】

二年生は、五月二十二日（火）に上野動物園へ遠足に行きました。動物園をグループに分かれて、クイズラリーやスタンラリーに挑戦しました。クイズに答えながら、様々な動物をよく観察している様子が見られました。「アイアイの目が光っていたよ」「オカピって、キリンの仲間なんだって」と分かったことを友達と話している姿がありました。帰ってきて、遠足新聞を書いていきます。自分の分かったことや、楽しかった思い出を一枚にまとめていきます。遠足での経験が今後の学校生活に活かしていければと思います。



（二年担任 竹内 麻美）

四年生【若洲公園】

四年生のスローガンは「ハピネス」です。ハピネスな遠足となるよう、「協力する」ことを一番のめあてとしました。遊びや交通リーダーなど、一人一人が役割を担い、自分たちで班活動が行えるよう計画をしました。

当日は、声を掛け合いながら自分たちでウォークラリーに取り組んだり、友達のお話を聞いたりする姿が見られました。午後は、事前に班で考えた遊びを、男女共に仲良く遊ぶ姿が見られました。遠足後は、「みんなで協力できると楽しかった」「遊んでいるときに意見が別れたが、話し合ったら自分たちで解決できた」など、今後に繋がる振り返りができました。これからも友達のお話を認めたり、協力して活動したりできるように声を掛けてまいります。

（四年担任 並木 恵美子）

六年生【鎌倉】

六年生の遠足は、五年生と同様に鎌倉での班活動です。昨年度と異なる点は児童だけで活動するという事です。鎌倉駅周辺のお寺や神社にチェックポイントを設置し、地図やカード等を活用して巡ります。

事前に拝観料を調べたり、電車での移動時間を計算に入れて一日のスケジュールを立てたりするなど、主体的に取り組むことができました。遠足は移動教室に繋がる活動です。移動教室でも様々な場所で班活動を行います。互いを思いやり、譲り合いながら行動する力を育む機会になりました。

（六年担任 照沼 純）

一年生【潮風公園】

一年生は、五月二十四日（木）に潮風公園へ行きました。最初に学年で「猛獣狩り」や「じゃんけん列車」などをして遊びました。他の学級の友達にも声を掛けたり、肩を組んだりしながら、とても楽しんでいました。その後、各学級のグループごとに、事前にみんなで相談して決めた遊びをしました。保護者ボランティアの方々に見守られながら、広場を元気に駆け回っていき姿が印象的でした。帰りは、電車に乗り学校まで歩きましたが、疲れていても最後まで自分たちでしっかり歩いて帰る姿を見て、頼もしく感じました。この遠足での経験をこれからの生活に活かしていければと思います。

（二年担任 小林 結美）

三年生【葛西臨海水族園】

五月十五日（火）に、葛西臨海水族園へ行きました。水族園では、グループごとに様々な生き物を見たり、クイズに取り組みました。また、身近な水辺の生き物についての話を聞き、カエルとイモリの体の特徴を比べながら、詳しく知ることができました。特に、カエルの足が、体の大きさに対して非常に長いことを知って、驚いている姿が印象的でした。



当日は、自分の役割を意識してグループ行動をする様子が見られ、時間を守ったり、互いに譲り合ったりすることができました。これらのよさを六月の社会科見学でも生かし、実りある学習にしていきたいと思います。

（三年担任 檜垣 史）

五年生【鎌倉】

五年生は、四月十九日に鎌倉遠足に行きました。たくさんの方々の保護者ボランティアの皆様に温かく見守っていただき、安全に実施できました。ご協力ありがとうございました。

鎌倉遠足のめあては、「仲間と協力して活動する」「進んであいさつをし、公共のマナーを守る」「鎌倉の文化や自然に触れ、たくさんの方々の発見をする」「計画的に水分補給や休憩をして、体調を自己管理する」でした。疲れる前に計画的に水分補給をしたり、友達の体調を考えて休憩をしたり、電車内では周りの人のことを考えて席を譲ったりする姿が見られました。夏季学園に向けて、これらのよさを生かし、さらに成長していくことができるように指導してまいります。

（五年担任 栗田 純）

わかば合同遠足【若洲公園】

五月十八日に港区内の特別支援学級四校が集まって、若洲公園に行きました。初めて会う友達や久しぶりに会う友達に「よろしくね」「久しぶりだね」と声を掛け合う姿が見られました。

昼食には、事前にお誘いの手紙を送った児童と声を掛け合い、一緒にお弁当を食べました。事前学習で行ったお誘いの仕方や考えていた話題で盛り上がることを通して親交を深めることができ、次回の合同行事でまた会えることをとても楽しみにしているようです。今回の経験を活かして、さらに交流の幅を広げることができるよう指導してまいります。

（わかば学級担任 渡辺 真理）

ボードゲームクラブ

クラブ紹介

水泳クラブ

今年度の水泳クラブは、計二十三名で活動しています。水泳が好きな児童が多く、意欲的に活動している様子が見られます。それぞれの泳力は様々ですが、それぞれで声を掛け合いながら楽しく活動しています。

四月の活動では、一人一人の目標を立てたり、年間の活動予定を立てたりしました。クラブ長を中心に活動内容を決めていく際も、一人一人が思いをもつて話し合いに参加していました。

五月は、様々な泳ぎの練習やゲームを通して、メンバー同士の仲を深めました。自分の目標に向かって進んで活動できるようにしてまいります。

(水泳クラブ担当 竹内 麻美)



ボードゲームクラブは、総勢十七名で活動が始まりました。将棋や囲碁、オセロゲームなどを中心に対戦します。将棋のルールをインターネットや図書などで調べたり、友達に教わったり、また、知っている児童が丁寧に教えてあげたりと、盛んに交流しています。

五〜六月はおもに将棋のトーナメント戦です。相手の作戦を読みながら次の一手を考える様子は真剣そのものです。教室は静かな闘志に包まれます。ボードゲームを通してたくさんの方達との心の交流がさらに深まっていくよう楽しく活動していきます。



(ボードゲームクラブ担当 石井 直子)

昔遊びクラブ

昔遊びクラブでは、百人一首やコマなど、昔の子供たちが遊んでいたものを使って活動しています。コマなど、回すためのちよつとしたコツがいるものや、百人一首など今でも慣れ親しんでいる子供が多いものもあります。

また、八人と言う少人数のクラブということもあり、一人一人の「やってみよう」という希望を聞きながら、みんなで楽しく活動することが出来るクラブです。

今後は、どのような遊びをしてみたいかを話し合いながら、できるだけ多くの昔遊びに触れ、日本の文化を感じながら楽しく活動していきたいと思えます。

(昔遊びクラブ担当 松坂 祥子)



一輪車クラブ

今年度は、計八名の児童で活動しています。一輪車が得意な子だけでなく、初めて一輪車に乗る子も楽しく活動できるように内容を工夫しています。

目標は、三学期のクラブ発表会です。今から何の技を披露するか話し合いをし、練習の計画を立てるところです。

クラブ発表会に向けて、アイドリリングやメリーゴランドなどの様々な技に挑戦していきま

す。また、八人という少人数の良さを生かして、友達同士で教え合

い、和気あいあいとした雰囲気の中で活動していきたいと思えます。

(一輪車クラブ担当 山口 沙織)



表彰

第20回全国児童「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」
2年 小林 暖

～第42回 わんぱく相撲港区大会～

1年の部	2位	若林	咲綺人
	3位	山本	琉斗
3年の部	3位	上地	健斗
	4位	田中	大賀
4年の部	2位	内藤	敬太郎
6年の部	4位	添田	龍之介

～第37回 ハトマークフェアプレーカップ～
第8ブロック予選大会
3位 MSC 深田 優

放送委員会

放送委員会は、二十六人の児童で活動しています。放送委員会の主な仕事は二つあります。

一つ目は、朝会や集会で使う放送機器の準備です。朝早く登校し、マイク準備や音響確認をします。全校児童の活動に関わるため、時刻を守って準備をするなどの責任が伴います。

二つ目は、朝や昼の放送です。全校児童に正確な情報を伝えるため、緊張感をもって取り組んでいます。

今後、様々な企画を考え実行していきます。現在、子供たちは自分たちで考えたクイズを出題するなどしています。五年生、六年生問わず、連携を取りながら主体的に取り組む姿がとても素晴らしいです。

こうした協力し合う姿や前向きな姿を尊重し、様々な仕事や企画を行い、よりよい委員会活動ができるように指導していきたいと思えます。

(放送委員会担当 栗田 純)